

米沢市新文化複合施設基本設計案市民検討会 会議録

- 1 日 時 平成24年2月23日（木）19時00分～20時30分
- 2 場 所 伝国の杜2階 大会議室
- 3 参加者 市民80名
- 4 説明者 設計者 株式会社山下設計担当者
事務局 米沢市教育委員会教育管理部長、文化課長 他

5 次 第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 新文化複合施設整備事業について
- (4) 基本設計（中間案）の説明
- (5) 意見交換
- (6) 閉会

6 意見交換要旨

参加者／ 一つ目の意見は、建物がいくら立派でも、今年ぐらい雪が降ると、排雪が大問題になります。入口を確保しますと言いましても、このぐらい雪が降ると難しいと思います。出入口の問題を真剣に考えないと、建物が壊れる以上の問題になるのではないかと思いますので、その対策を考えていただきたい。二つ目は、向かい側に文化会館がありますが、まったく無視されているような感じなので、文化会館との関連も考えの中に入れていただきたい。あと、米沢市では古文書を多く持っているとの話ですが、運用の中で当然コピーをしてほしいとの相談があったときに、それを無料で提供するのか、有料で提供するのか、市でどのように考えているのかお聞きしたい。

設計者／ 雪に対する出入口の話ですが、基本的に大きな考え方として、こまやという空間を出入口の前に延ばしております。西側はかなり深くなっておりまして5mぐらいあります。それに比べて、南側は少し短く、除雪をした時に入口側に雪が溜まるということもありますので、そういうことを十分踏まえて床に融雪装置を入れるとか、庇を深くするとか、そういった配慮をしていきたいと思います。駐車場についても同様なことを考えておりますが、なるべく大きな庇で出入口の前には雪が積もらないように万全の対策を施していきたいと思います。

事務局／ 今回は、新しい図書館と市民ギャラリーについての説明ですので、文化会館を切り離されているように感じられるかもしれませんが、基本構想の中にもしっかりと連携をうたっております、一体化した事業展開も考えていきたいと思っております。また、文化会館のみならず、古文書関係では上杉博物館との連携が非常に大事になってきますので、そういった連携は深めていきたいと考えております。それから、古文書等のサービスですが、現在、デジタルライブラリーというものを構想しております、できるだけ古文書の目録化、テキスト化、更にはデジタル化という

ことを進めまして、皆様にわかりやすくご覧いただけるように考えております。コピーサービスについては、現在も有料でサービスさせていただいておりますので、今後も、そのような形で続けさせていただくようにしたいと思います。

参加者／ 内部については専門家がいるので、私からは、まちと市民の関わりについての要望を伝えたいと思います。一つ目は、まちなかに集まる人は、高齢者や子どもやお母さんとかそういう方になりますので、バリアフリー化の問題について考えてほしいと思います。それから、市長やいろいろな方に要望してきましたが、中心街を通っているバスの停留所があります。中央三丁目のホテルサンルート前ですが、夏は心配ないですけれども、冬の吹雪の時は、高齢者がバスの時間になると建物から出たり入ったりしてバスを待っている訳です。山形交通の路線バスですが、この際、公共施設ができる時に、そのバス停を施設側へ設置できないでしょうか。

設計者／ バリアフリーについては、設計プロポーザルの段階から、しっかり考えていこうという姿勢を持っております。具体的にどういうことを考えているかといいますと、今回建物が二層に分かれておりますが、その一階、二階の各床がフラットで段差が無く使えるようにしたいと考えております。それから二階へ上がる場合でも、階段で上がるにしてもかなり緩い階段で、蹴上げと言われる段差が15cmぐらいで、通常20cmぐらいありますので、ゆったりした階段で、なるべく幅を広くして手すりも設けてゆったりと上がれるようにしたいと考えております。更には、その階段に合わせてエレベーターを使いやすい位置に配置することで、よりやさしい建物になると考えております。他にサインであるとか、子どもが伝ってくる場所の角については丸くするとか、様々な対策はあると思いますが、いろいろな事を十分に考えて設計していきたいと思っております。

事務局／ 路線バスの停留所設置というお話ですが、敷地面積に限りがありますので、敷地の中に取り込むことは残念ながらできない状況です。今のところ、新文化複合施設1階のブックカフェの辺りにモニターを設置して、バスナビというシステムを用いまして、市民バスの運行状況を確認していただくように考えております。具体的には、ブックカフェでモニターを見ながらお待ちいただいて、バスが前の停留所を出たことを確認して、サンルート前のバス停に移動していただくということになるかと思っております。

参加者／ 設計の方のお話を聞いていますと、建物は非常に開放的で歩いていたら自然の中に入ってしまうような雰囲気を醸し出そうとする意図が感じられるのですが、その中で、まちの広場とのつながりが強調されていますけれども、まちの広場と施設の間にある一方通行の道路が相互通行になるというお話を聞いたものですから、まちの広場や文化会館とのつながりという部分で、間の道路を相互通行にしたらとんでもないことになるのかなと思いますので、その辺のことを確認したいと思います。

事務局／ この事業計画を始めた時に、国へ申請した計画の中では、相互通行のプランを提出しています。その後、いろいろな御意見を頂戴しまして、まだ結論は出ておりませんが、廃止も含めて検討事項に上がっておりますので、もう少しお待ちいただきたいと思っております。

参加者／ 今の状況よりは、相互通行にならない方向、あるいは廃止の方向ということで検討しているということでしょうか。

事務局／ 現段階では、何とも申し上げられません。全ての可能性を含めて検討しているという状況です。

参加者／ 私の頭の中では、図書館は平面的にすぐ入れる位置というのがありました。今の図書館もそうですが、それが2階になるということには抵抗があります。それに本の重量というのは、ものすごい重量です。15万冊を開架するとなると、下が空洞ですし、プロの方々ですから耐震的にも十分対応できる建物にされると思いますが、大変な経費が掛かる気がします。この前、図書館が開館する前に図書館の入口に年配の方や小さい子どもを連れのお母さんたちが待っていて、その方々に「今度の新しい図書館は2階になるんだって。」と言うと、「そがな不便だべした。」と言われました。それが利用者の生の声なんです。それに階段を緩くすると言っても、手を引かれて上がる方々にとっては大変ですし、エレベーターを使えばいいじゃないかと言っても、子どももたくさん来ます。こちらの図書館の統計を見ますと年間24万人ぐらい入館しているんです。ギャラリーの入館者数に比べて、図書館を利用される方々の数が何倍にもなっている訳です。そういう方々に2階に上がって利用しろと言うのか。まちの広場との一体化ということを言われましたけれども、それは年中ではなく、イベントがある時だけというイメージがあります。それに駐車場に車を止めた時に、正面入口まで軒下を歩いて行かないといけないという設計だと思いますが、今までは、駐車場で車から降りれば、子どもの手を引いてすぐ図書館へ入って1階の閲覧室へ入れる。それが今度はぐるっと回って階段やエレベーターを使って2階へ上がる。利用者は、年配の方から幼い子どもまでたくさんいらっしゃいます。はたして、この位置でいいのかという疑問があります。どうしても2階だとおっしゃるのであれば、他の図書館でも建築上いろいろな工夫をされていて、スロープにするとか対策があると思うのですが、駐車場から正面入口までのアプローチが、私には随分雪国に対して不親切な設計だという気がします。それに貴重な資料を3層目に入れるのは、万が一の場合に、そこから退避させることが大変心配ですし、図書館は、現在夜8時まで開館している訳ですが、1階が閉まっていて、誰もいないところを歩いて2階に上がるというのは、女性にとっては怖い気がします。その辺はどうなのでしょう。

設計者／ 基本的な階層構成について、米沢の雪のこととか、利用者のことを全然考えていないのではないかと、若しくは、配慮が足りないのではないかと御指摘でございますが、非常にうなづけるところが多い御指摘だと思います。ただ、建築を設計するときには、いろいろな要素を考えながら取捨選択をしていくことになります。例えば、図書館を1階に配置するというのも検討いたしましたが、この敷地面積の中で1階に配置すると図書館は2層になってしまいます。2層になるということは、例えば、お子さんを連れの方が子ども図書室に来られた時に、自分は他の資料が見たい時に、また2階に上がったとか使いづらいところもあったり、下の階に来た方は、2階の資料を見ないでそのまま帰ったりだとか、そういったデメリット的な

こともあります。それから、今回は図書館だけを造っている訳ではなくて、市民ギャラリーと図書館を造るということです。それをどういう組み合わせにすればいいのか。先ほど説明をいたしましたけれども、市民ギャラリーというのは、いろいろなものを展示するということで、展示のしやすさというのは、かなりの生命線だと思っております。ギャラリーを2階に上げた場合には、搬入用のかなり大型のエレベーターを設けないといけませんし、それは高額なものでございます。コストの面で考えても、今回の建物は2mの雪を屋根に載せるという設計条件になっております。それは、構造的には、図書館の本よりはるかに大きな要素になってきますので、相対的に考えれば、2階に図書館を上げることでコストが掛かるということはないのではと考えております。それから、まちとの関係を考えたときに、本当に1階に静かな図書館があるという造り方をしていいのかということがあります。まちの広場との関係を申し上げましたが、駐車場の位置が北側に配置をされていて、そちら側に正面入口を造りたいというふうになると思いますが、そうすると、平和通りに対して反対側を向くのではないかとということもあります。それを設けるためには、南北をつなげる大きなロビー空間をそこに配置しなければいけないとか、いろいろと設計上無駄になる空間も出てくることありまして、総合的に判断をして今回のような提案をさせていただいているところです。御指摘をいただいた中で、2階に図書館を持っていくことによって、デメリットみたいなことが当然出てくると思いますので、そのデメリットをなるべく解消する形で設計を進めていきたいと考えております。先ほど誤解されているところがありまして、駐車場から本体北側に入れる入口がございまして、プロポーザルの時には、確かに軒下を通過して入ってくるという形になっていましたが、駐車場側からすぐに本体に入れるような構成に変わっております。

参加者／ 車椅子を利用している立場として、バリアフリーとユニバーサルデザインということ十分に配慮した建物を造っていただきたいと思っております。新しい建物に行ってみると、動線とかが非常に使いにくい建物ができてしまう場合があります。後で改善を申し入れても、もう一度予算を付けて改善することはできないと言われることありまして、設計の段階で言ってほしいということは何度か言われたことがあります。それで設計図を見て気になる点があります。駐車場ですが、以前の市営駐車場だとエレベーターが無かったので1階にしか止めることができませんでした。ところが車椅子用の駐車場は、今は車椅子だけの駐車場ではなく、多目的駐車場になっていて、子ども連れの方から高齢者の方まで許可証をもらって止められるようになっていて、そうしますと、私たちが止めることができないことが多いんです。そういうことを考えると、2階、3階にも止めることができますので、この設計図の中でエレベーターが駐車場にもあるのか確認をしたい。あと、2階からの通路が確保されているのかということと、トイレの問題で、特に多目的トイレの整備ということも配慮してほしいと思っております。それらのことを考えれば、都会と違い電車、バスでの移動よりも、自家用車での移動が多くなります。学生も家族の送迎で来る場合がありますので、送迎用の駐停車場所を確保されているのか、タクシー

で利用する場合の乗降場所が確保されているのかということも気になります。設計図を見せていただいた段階で、いくつか確認をさせていただきたいことがありますので、意見を十分取り入れていただけるような場を、実際利用する立場に立って意見を聞いていただける場を作ってほしいということと、完成前にモニターということで大きな修正はできないと思いますが、トイレ設備等の確認ができる仕組みを作ってほしいと思います。海外の図書館の書棚も大変素晴らしいと思いますが、高いところの本はどうやって取るのかなど。実は、高いところの本がなかなか取れなくて、受付まで行って本を取ってくださいと頼まないといけないことが多々あります。そういう書架を造るのであれば、それを支えるシステムですとか、スタッフを配置するとかの配慮をしていただかないと、小さな子どもとか私たちとか視線がとても低い市民にとっては、使いにくいことも出てくるので、その辺を確認しながら進めていただければと思います。

設計者／ 非常に的確な御指摘をいただきましてありがとうございます。今のお話の中で、回答できる部分についてお話しさせていただきます。ただし、運用に関わる部分につきましては、現段階で設計者からは申し上げられない部分もあるかと思っておりますので、その辺は御容赦いただきたいと思っております。まず、駐車場にエレベーターがあるかというお話ですが、お手元の図面ですと上の部分にエレベーターと階段が集約されております。車椅子用駐車場は1階部分に用意して、駐車場の出入口から建物にすぐ入れるように考えておりますが、御指摘の中で、ここに止めることができない場合があるということについては、今後、市の担当に相談をしながら、対応を考えていきたいと思っております。2階からの通路があるのかとのお話ですが、市民ギャラリーの階高というのは、まだ細かなところが決まっておりますが、おおよそ5mから4mの間ぐらいになるのではないかと考えております。一方、駐車場側はだいたい3m超の階高になります。そうすると、駐車場の2階と本体建物の2階の床の高さが違うことになります。そこをつなぐことも検討いたしました。非常に長いスロープを何らかの形で伸ばさないといけない。そうすると、先ほど図書館が2階なのか1階なのかというお話のなかで、御説明したことが2階に上げたのにも関わらず起きてしまうとか、はたして、そんなに長いスロープを渡っていくのが本当にバリアフリーなのかということ等を検討いたしまして、現案では、エレベーターを使って下に降りていただく方が安心感があるのではないかと考えております。それから、多目的トイレにつきましては、重々承知してまいりまして、1階のトイレの部分に多目的トイレを計画しております。2階についても考えてまいりまして、レイアウトとの兼ね合いもありますが、現状ではトイレの部分に確保しているということで、各階で上下することなく多目的トイレを使っただけのようにしたいと考えております。それから自動車で送迎される方々がどこに駐停車するかということですが、これも道路事情とか関係機関との協議との兼ね合いがありますので、現状では東側の通りの方が比較的交通量が少ないことと、道路と建物の間が4m以上あります。こまやの空間がありますので、この部分のどこかを利用することが可能か検討しているところです。それから、書架の高さにつきましては、非

常に頭の痛い問題でありまして、全部低くすれば取りやすいですけれども、そうするとたくさんの本が置けなくなるという問題があります。計画にあります冊数と敷地の広さや建物を造れる大きさと関わってきますので、そちらの方は、運用と合わせて解決していく問題だと思っております。バリアフリーについては、確かに実際に使う方々にお話しを伺うのが一番有効だと思いますので、どういう形になるかわかりませんが、もう少し計画が進んだ段階で、何らかの形で情報発信させていただければと思っております。

事務局／ モニタリングのお話もありましたし、開架部分についての利便性の御指摘もいただきました。この辺は、運用の問題も絡んできますので、今の御意見をもとに、今後検討させていただきたいと思っております。

参加者／ 図書館のキッズコーナーと大人のコーナーのエリア間の音の問題については、どのように配慮されているのか。あと、就学前の子どもと乳児も一緒に来られると思うので、乳児に対応するコーナーはどのように考えているのか確認したい。

設計者／ 図書館の閲覧室がキッズコーナーを含めて一つの空間にあるという形なので、音の問題ですけれども、静かなゾーンから騒がしいゾーンへ段々と変わっていくようなゾーニングにしていくべきだろうと思っております。それで手前側が子どもゾーンだとすれば、例えば、その脇に雑誌コーナーとか、AV関係があったりだとか、その奥に小説のゾーンがあったりだとか、もう少し専門的なレファレンス関係の資料があったりだとか、奥で静かに勉強できる環境があるとか、そういうゾーニングを考えております。あとは、家具の中で少し吸音するとか、そのようなことを考えております。

事務局／ お話しの部屋等については、クローズの考え方でおりまして、その辺はこれから具体的に計画していくことになります。

設計者／ ブックスタートとか、そういうスペースをどういう所でどういうふうに造っていくということも今の話には含まれていると思っておりますが、それは2階の図書館でやらなくても、例えば1階の小さな部屋のスペースを活用するとか。若しくは、中2階の学習室を区切って使うとか。それは運用で十分対応できるのではないかと考えております。あとは、お話し室を活用する等、多目的に使えることを考えていけば十分対応できるのではないかと考えております。

参加者／ それは、授乳室だとか、おむつ交換等も含めた考え方なのでしょうか。

設計者／ この閲覧室のレイアウトは、まだやっていないに等しいぐらいのレイアウトでございます。こども図書館には授乳室や子ども用トイレも造る必要がありますし、そういうものは、しっかりと入れていくべきだと思っております。

参加者／ 今までは平面の話で天井の高さは出なかったと思っておりますが、市民ギャラリーの天井の高さについてお願いしたい。基本構想にも書いてありますが、天井の高さを3.3mにするということに進んでいる訳ですが、私たちが聞いている範囲では、作家の方にしても、学芸員の方にしても天井の高さは4mがいいと、最初に設計業者が提案した4mという高さがとてもいいんだという話でした。この伝国の杜の会場も壁側でだいたい4mぐらいだと思っております。真ん中で5mぐらいだと思っております。

ここから70cm低いところが3.3mということになりますが、伝国の柱にしても宮城県美術館にしても、取り付けレールの位置が2.9mから3.3mですから、取り付けるときには、そういう低いレールを使って取り付けますので、作業はそんなに危険ではないのではないかと思います。ですから、天井高と直接作業するというのは分けて考えていいのではないかと思います。せつかく造るのですから、低い天井にしてしまうと後から天井を高くすることはできませんので、4mという高さをお願いしたい。3.3mと4mでどういうふうになるのかとなりますが、4mの場合だと、大型作品を飾ることができます。3.3mで飾れないような大きな作品を飾ることができます。現に作家の中には、ゲルニカの模写ということで、3.5mぐらいの作品があります。そういった大きな作品を飾ることができるので、是非4mの高さを確保していただきたいと思います。

設計者／ これについても、いろいろな考え方があると思っております。例えば、一般的に美術館や博物館だと天井高を4mから4.5mぐらい確保するべきだと言われておりますけれども、市民ユースにウエイトが大きい場合には、もう少し低い方が使いやすいのではないかという意見も一方ではあります。それから、先ほど2階に図書館があるということで、1階の階高を高くすると2階に上がるのに少し大変になるということもあって、それからコストの話も階高を高くすれば、コストが上がってくることもありまして、その中でなるべく合理的に工夫して、3.3mのところもあれば、部分的には4m確保できるところもあるということ、検討しながら造っていかうと思っております。全体が平均して4m取れるというふうにすると階高も高くなって、2階の高さも上に上がってしまうので、それはしないで上手に造っていきたくて思っております。

参加者／ 設計とか中身についての質問にお答えいただいているんですが、もう大方決まっていて、これ以上直せませんよみたいな感じに取れるので、この資料にも経済的な面のみならずということが書いてあります。これらを考えながら、本当に利用者の立場に立って考えてほしいと思います。お聞きしたいのは、エネルギーのことについてです。今問題になっている再生可能エネルギーとか、太陽光とか、これだけ大量の積雪がありますから、わざわざ電気を使って屋根の雪を消すとか、そういう事ではなく、例えば、自然の放熱を使って雪を消すとか、解けた水は流すだけでなく、溜めて災害時に使うとか、それを夏場の冷房に使うとか、そういうところまで考えてほしいと思います。それと、これだけ大きな立派な施設ですから、近隣から市民が自家用車や自転車で来ることばかり考えないで、置賜全域、若しくは県内からも見学なり利用されることを想定すれば、駐車場についてはバスやマイクロバスが駐車できるようにするとか。先ほど、こまやを利用して乗り降りができる可能性があるという話もありましたので、そのことは一安心したんですが。また、駐車場については、今までの図書館は文化センターにありましたので無料だった訳です。図書館となると、本を借りるだけなら30分で終わって帰るのでしょうが、そこで勉強なり閲覧すると、当然2、3時間は居ると思います。そこで、来るたびに駐車料金を払うのか、駐車料金は無料になるのか、その辺のこともお聞きしたい。それ

から、バスの利用は文化会館も関連する訳です。文化会館は、指定管理者になって市はタッチしていないみたいなどころもあるようですけれども、文化会館の利用も拡大しないと、使っても使わなくても維持費は掛かる訳ですから、その辺も合わせて、先ほどのバス停の件も、お年寄りの方にバスナビを見て、そこから慌てて停留所に行けなんて冷たいことを言わないで、何とか考慮できないものかお聞きしたい。

設計者／ エネルギーについてですが、今、建築の中で一番使いやすい自然エネルギーは、ソーラーパネルという太陽の光で発電するものですが、付けている所は、だいたい年間の日射量というか晴れの日がかなり多い所に付けると効果的であると言えます。米沢のような雪が多い場所で適切かという、そうではないのではないかと考えております。だかといって、無駄にエネルギーを使うような建物を造ろうというふうに思っている訳ではなくて、断熱性が非常に高いものにしようと思っております。例えば、2階に図書館がありますが、かなり高性能な断熱材を外側に持ってきて、魔法瓶とは言いませんが、普通の建物に比べたらずっと暖かいとか、夏であれば涼しいとか、そういう環境が、少ないエネルギーで実現できるような構成をしっかりと考えていきたいと思っておりますし、それをこれから実際の作業になると思っておりますが、しっかりと造りこんでいきたいと思っております。

事務局／ 駐車場の駐車料金のお話がありました。もちろん現況が無料でありますし、図書館利用は無料が原則だと思っております。運用の話については、まだこれから詰めていきますので、今この場で何時間無料にしますというようなお答えはしかねませんが、利用形態によっては、一定時間無料となるような方向で検討していきたいと思っております。バスについては、敷地面積の関係で、どうしてもその中に大型バスを取り込むというのは不可能ですので、先ほどのようなお答えになりました。あと、文化会館についても繰返しになりますが、当然、新施設との連携、コラボレーションといったものを考えていこうと思っております。

参加者／ 太陽光発電についてですが、雪国ではメリットがあまり無いということですが、私事ですけども身内に太陽光発電で家を建てていまして、子どもが1歳で夫婦2人が働いているので電力量が少ないということもあったのですが、発電したのから使用したものを引いて、当然、売電もした訳ですけども、それで年間1円で済んだということがあります。やり様によっては、必ず屋根に付けなくても、壁に付けることもできますし、確かに日照時間は冬場は無いですけども、年中雪が降っている訳でもありませんし、3月になれば晴れ間も出てきますし、冬でも必ず雪が降るということでもありませんので、その辺を考えていただいて、決まっているからしょうがないというのも言うてはいけないと思っておりますが、せっかく施設を造って20年やそこらで壊す訳ではありませんので、市民のお金ですから、それも有り余っているお金ではないです。当然、借金して造るんだと思っておりますが、そういうことを考えると、経費を最初出しても、後々少しづつ楽になるような、そんな仕組みを考えていただきたいと思っております。

設計者／ 了解しました。もう一度しっかりと検討していきたいと思っております。

参加者／ 先ほど、どなたかもおっしゃいましたが、図書館の中のトイレの位置ですけれ

ども、遠い所に片側だけありまして、1か所であれば真ん中に造るべきだと思います。やはり子どもに限らず、障がい者の方にも使いやすいトイレとするためには、このような端に持つていくのはいかがなものかと考えますので、その辺の配慮もお願いしたいと思います。それから、繰返しになるかもしれませんが、一方通行の道路について、検討してますというお答えでしたが、更にお願ひしたいということで、改めて申し上げますが、子どもたちがたくさん集まる図書館であるためには、危険が少ない地域であるべきだと思います。それから、障がい者の方も年配の方もたくさん図書館を利用していただき、ギャラリーに集まっていただくためには、危険な場所であってはいけないと思います。一方通行であっても車が通るということで、子どもの手を離す訳にはいかないし、ゆっくり楽しむことができなくなります。そういうことも含めて、ここは是非、歩行者の道路になるぐらいの気概を持って製作者の方もデザインを提供くださる方も、その辺のことを含めて、担当行政なり担当の方にもお伝えして、しっかりとアピールしていただいて市民の命を守っていただきたいと考えています。それから、先ほど、素敵なデザインを見せていただいたんですけども、米沢市民の立場から申し上げて、とても硬く冷たい感じがしました。四角で黒くて硬くて直線的なので、米沢の気質は、もっとやわらかくて温かいものだと思います。その辺のところを米沢市民の人とどういうふうにコミュニケーションを取られてこのデザインにされたのか少し不思議に思います。黒はすっきりしていて直線的で素敵なかもしれませんが、ここは市民の憩いの場所です。市民の人がたくさん集まって、たくさんの時間をゆったりと過すスペースになってほしいから、ここに図書館と市民ギャラリーが整備されるのだと思います。それを取り囲むような商店街の活性化も目指していただけることだろうと思います。私は中心市街地活性化のメンバーでもありましたし、その時にもいろいろと話が出たんですけども、その時に出したのは、憩いの場所であってほしいし、市民がたくさん集まってほしい場所でありたいと、ほとんどの皆さんからその声が出ていました。そういう声を、もっともっと拾っていただくと、もう少しやわらかいイメージが出てくるのではないかと期待しますので、よろしくお願ひします。

設計者／ まずトイレの位置の話なんですけど、中心にあった方が良いという御意見は、十分説得力のある良い意見だと思います。いろいろな中で決めていくものですので、今後の課題として大事な話ですので、しっかり検討していきたいと思っております。それから、一方通行の話は、私が口を出せる話ではありませんので。ただし、道が曲がっているということは、ほとんど今言われたような形で使うべきだと、そこに示されているのではないかと考えております。それから、デザインについて大変厳しい御指摘がありますが、これはプロポーザルの段階で、先ほど、最初のところがありましたけれども、都会的で洗練されすぎているのではないかと、たぶん庇が直線的だとか、黒塀ということで暗いとか、かなりフレンドリーではない形の部分で強くイメージを持たれているのかなと考えておりますが、そういうふうに指摘をされていますし、もう少しやわらかな、もっさりしたような、うまくは言えませんが、検討課題として認識しておりますので、このまま造れば良いと思っている訳ではな

いということをお今の段階では申し上げたいと思います。十分中心になって、みんなが集まってきて、それを受け入れるような、やさしさみたいなものは、これからしっかりと考えていきたいと思っております。

参加者／ 長年、図書館協議会委員をしていまして、いろいろな図書館を視察させていただきました。そういう参考意見を言う場が無いままに設計段階に入って、あっという間ですけども、今日、この場を設けていただいて、本当にみなさん方の意見もいろいろお聴きしまして、市の方も大分取り上げてくれるのではないかと思います。こういう機会は今日だけなのか、何回もしていただけるのかお聞きしたい。

事務局／ 今進めています基本設計の完成は5月を予定しております。その後、すぐ実施設計に入りまして、その完成が11月ということを目標としております。そういったスケジュールと、今日いただいた御意見をまとめさせていただき、いろいろと反映させていくことを考えますと、5月の基本設計ができ上がったときに、今一度こういう機会を設けて、細かい実施設計に入る前に御意見を頂戴するのがいいのではないかと考えております。

参加者／ 是非その機会を設けていただきたいと思います。利用者の立場から、いろいろとみなさんから御意見がある訳ですし、私もいろいろと考えています。ビデオコーナーなんか無いようですし、新聞を見るスペースとか、そういう棚とか、そういうデザインなんかも見せていただけるのですか。

事務局／ 先ほどから御説明しているとおり、図書館の内部につきましては、あくまでも参考図でございます。私たちも大事だと考えています子ども用トイレも今のところは、描いてありませんが、当然、設置するつもりです。ですから、この内部レイアウトにつきましては、あくまでも参考図だというふうに御認識いただきたいと思っております。今後、検討を進めまして、基本設計ができ上がるときには、具体的なあり方、配置等が御理解いただけるような形になると思っておりますので、その折に御意見を頂戴したいと思っております。

参加者／ そういう新聞を見るコーナーやビデオを見るコーナーも中には入っているのですか。

事務局／ 今お話しがあったことは、考えていますし、全て入っております。今も一応図面の中にあるように描いてありますけれども、文字として表れていませんので、ここがそういう場所だよということが示されていないのは、大変申し訳ないと思っております。もちろん、基本設計の中では、そういうこともきちんとわかるようにしていきたいと思っております。

参加者／ それを聞いて安心しました。市民が納得のいくような内部構成の図書館にしていきたいと願っています。

参加者／ この限られた時間で意見を述べさせてもらうのは、本当に限られていて、ユニバーサルという視点から配慮していただきたい点がたくさんありますので、できれば、ヒアリングの場だとか、あるいはコメントと言いますか、メール等で受け付けていただけるような仕組みを作っていただくとか、なるべく多くの意見を取り入れるような機会を作っていただきたいと思っております。

事務局／ 決してこの場だけで御意見を頂戴しようとは思っておりません。随時、文化課で受け付けております。文化課あてにメールも可能ですし、封書とかファックスでも構いませんので、いつでも御意見をいただけるとありがたいと思っております。

参加者／ 図面のことでお聞きしますが、こまやの所で破線の部分がこまやの一番先の部分になるのか。

設計者／ そうです。

参加者／ 東側の方に車寄せをと言われているが、この寸法で見ると、車を止めても車を外に止めているような状態になって、人だけが乗り降りするのに雨や雪が当たらない部分になっている気がするんですが、その場合、米沢特有の東側の軒先に雪が被ってきたりすると、あまりにも狭すぎるのではないか。あと、東側の道路は、車の通りが少ないと言われましたが、夕方や夜遅くになると、車の通りは少ないんですが、お酒を飲まれた方が頻繁に通り歩きされる場所ですから、交通事故が起きやすい部分になるような気がします。そのようなことで、そこに車を止めるというのは、不可能な気がします。もう一点、図面で見るとギャラリー2と体験学習室に戸を畳んだみたいな絵が描いてありますが、それが開放することもできますよという意味でお描きになっているのかお聞きしたい。

設計者／ そうです。

参加者／ ギャラリーだとすると、写真とか創作物を展示するときに、西側からの日差しを嫌いますが、あえて西日を探り入れられているというのは、何か意味があるのですか。

設計者／ 西側に広場があって、広場に対して開放したいという意図があって、そのようにしておりますが、光を嫌う展示のときは、展示パネルをガラス面に沿って配置をすると光はカットできるというレイアウトも作れるように考えております。

参加者／ 村山市の甕葉プラザもガラス張りで、ガラスを開放できるようになっていて、あそこの場合は、徳内まつりをまちなかで開催したときに、避難場所にもできるように造られていて、そういう意味ではいいと思いますが、西側のガラス面がすごく疑問だったので質問をしました。もう一点、自転車置場ということで、駐車場と市民ギャラリーとの間の北側と南側の所に設けられているのですが、これは、こまやで屋根を塞ぐとか、何か工夫はされているのか。米沢の場合、冬は高校生などが長靴とかブーツを履かないで、普通の革靴とかシューズで自転車に乗っている子がたくさんいます。そういう子どもたちが、図書館を利用した場合を考えると、自転車を置くスペースが無いから一応ここに置いたみたいな形にしかみえないので、風が西側と北側から吹きますので、ここが一番雪の吹き溜まりになる気がするので、そういうことも、設計の考えの中にあるのでしょうか。

設計者／ まず、自転車の話ですけれども、東側の話も含めてですが、図面の点線でお示ししている部分は、建物本階の軒先になっておりまして、特に東側は敷地ぎりぎりのところまで、かなり大きな庇を低い高さで造る必要があります。先日も打ち合わせのときに市の担当と話したところですので、自転車についても、屋根などの対策をしっかりと行いたいと思います。それから風の問題についても、西側の自転車の

露出する部分等には、防風壁のようなものを建てて、完全に防ぐように造るのは難しいかもしれませんが、程度が軽くなるように工夫していきたいと思います。

参加者／ 図面でわからないところをお聞きします。ギャラリー2の西側に面している壁が一本の線で描かれていますが、これはガラスの意味でしょうか。それから、スライディングウォールの展示スペースがあって、ここを塞ぐと展示できるということでしょうか。

設計者／ そうです。一番閉じた状態のときには、ガラスも閉じて天井吊りパネルも閉じることが出来ますし、一番開いたときには、ガラスも開いて、天井吊りパネルも開いて脇に収納することになります。

参加者／ このスペースは、おまつりの時、大きく開けて出入りできるようになるのか。

設計者／ 運用が許されれば、そういった使い方もできる場所を造りたいと思います。

参加者／ 南側に入口がありましたので、ここの所がどういう形になるのか。広場側入口もあって、まちの広場に面した一本線があって、これはガラス面ということなので。

設計者／ 開いたりできるガラス面です。普段は、そこから必ず出入りできる訳ではないので、建物の図面を描くときは、こういうふうに描いたりしますが、まだ概略の図面なので、扉を扉のように表現するといったことは、この中ではしていないため、わかりにくくてすみません。

参加者／ 駐車場の1階と本体の1階の間の破線は、上に屋根が付いているということか。駐車場からは、屋根があって雨に濡れないで本体に入ることができるのか。

設計者／ そうです。先ほども御指摘のあった風が吹き込んでくる可能性がありますので、冬場は、衝立を立てられてようにしたらいいのではないかと検討しております。この屋根の掛け方も、今お示ししている通りに採用になるのかは、これからきちんと検討したいと思います。

参加者／ 作品を搬入する場合、いろいろな方法があって、駐車場から作品を持って入る場合もありますので、その辺はどうですか。

事務局／ 駐車場から雨に濡れないで作品の持ち運びができます。

参加者／ 先ほどから、何人かの方からまちの広場線の道路について御意見がありました。が、芸術文化協会としては、この道路は撤去していただいて、文化会館、まちの広場と一体化した文化ゾーンにしてほしいという要望書を出しているところです。この場では、その話し合いをする場ではないということで、申し上げませんでした。が、そういう形にさせていただきたいという希望を強く持っています。